

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に愛され地域の中でその人らしく暮らすことの支援を、理念の基本方針に謳っている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時に、理念を全員で唱和し共有している。又、理念に添ったケアが出来る事を念頭において、入居者様の自立支援に心がけています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議や面会時にお伝えしたり、地域包括センターに空床状況を報告し地域の方々に理解していただくよう努めている。ボランティアの方が来訪時も会話等にて理解して頂けるよう努力しています。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の方々及び家族の方が気軽に訪問できるように、玄関先に花等を植え配慮しています。又、散歩時に地域の方々に挨拶等を行い気軽に声をかけていただいています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭り、市民センター等で開催されている文化祭や子供祭りに参加し、皆さんと楽しい時間を過ごしました。自治会にも入会していますので、町内の清掃活動にも参加しています。		
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の活動等に参加しグループホームを知って頂く事から始めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員研修などで外部評価の意義を説明し、理解出来る様指導している。又職員が自己評価をする事により理解度があり、改善点に取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回現況報告を行い、メンバーの意見を頂いている。行事の内容の検討や運営上の相談、時に家族様から見た施設内の様子をお聞きし幅広く意見を聴く様にしています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターとの情報交換を行っている。又、包括支援センターが中心となり、地域のグループホームの連携を図るようスムーズに活用出来るように行っている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護と成年後見人制度の研修会に参加し研修に参加された方が職員の勉強会に中心とし発表して意見交換等を行いました。理解を深めスムーズに活用出来るようになったと思われる。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員勉強会などで、身体拘束・虐待防止の研修を行い職員全員に周知徹底を行った。マニュアルを職員の目の届く場所に設置している。グループホーム協議会主催の勉強会に職員が出席し、研修報告を職場に持ち帰り、ケアに役立てている。拘束・虐待等はありません。		
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者様・ご家族が十分に理解して頂けるよう時間を費やし説明しています。契約書は2部作成し、1部は家族にお渡ししています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者は毎日入居者様と会話を行い、苦情等の相談がある時は、ゆっくり時間をとり個別に聴取しています。職員は常に入居者様の声に耳を傾ける姿勢でいる。各階の入居者様の下駄箱の上に意見箱を設置し誰でもが意見を記入できるよう行っています。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理等は毎月報告し、家族が面会時に身体面の報告をしていました。又、緊急時異常があるときには電話にて報告し病院等に引率し経過を報告していました。		毎月の生活の様子や健康状態の報告をこれからは各職員が受けもち文章にて報告するようにしたいと思っています。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置していますが、現状では苦情等はありません。家族会議を8月・12月と2回行い意見箱を設置していることの説明をし色々な事でも良いのでご意見を投書していただくようお願い致しました。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員勉強会等の場で意見交換を行っている。全員で話し合い改善出来る事は実施している。職員の良き意見等を積極的に取り入れている。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	年間予定表を作成し、各担当の職員が行事や予定などを取り入れ、各担当の職員がスタッフに連絡を行いながらスムーズに行えている。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	平成20年度7月に管理者変更となり、スタッフの移動もありましたが、職員の積極的な意見等を取り上げていくことにより職場の雰囲気も変わり現場が働きやすく、働き甲斐のある職場を目指しています。職員の移動がある場合は、ダメージが起きないように全職員で配慮している。		
5. 人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されている。	年齢や性別などで排除はしていない。幅広い年齢層で行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	配慮しています。		
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政やグループホーム協議会の研修会参加を促している。毎月の社内勉強会でも取り上げている。		
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に入会していますので、地域との同業者との交流の場が増えている。日々の疑問点等も気軽に相談出来るようになり、運営に反映している。		
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者や各リーダーに直接相談したり職員同士が互いに悩みや相談が出来る信頼関係や雰囲気作りに努力している。職員より相談や提案があれば直ちに対応できる事になっている。チームワークを養っている。		
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の性格や能力を把握し、更なる能力を発揮し課題を与えることにより能力アップし、向上心を持って働ける様に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメントをとりご本人様が話し易い雰囲気や環境作りをしている。ご本人様より聴取出来ない場合はご家族や担当ケアマネジャー・ソーシャルワーカーより情報を得ている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族からの電話の問い合わせや見学に来られた時は丁寧に対応し、家族からのご相談や困っている事を聴く様に努めている。ご家族が話し易い雰囲気を作っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の話をよく聴き、グループホームでの生活がご本人にふさわしいのかを見極め、そうでない場合は他のサービスを紹介している。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居当初は、職員や入居者様の協力によって声掛けをし沢山の情報を得て、入居前の生活ペースに合わせるなどの配慮をしている。家族には定期的に慣れるまで面会に来て頂くようお願いし、場合によっては時に外泊を取り入れて頂き、徐々に慣れるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	担当職員を決め、入居者様のサポートしています。職員が定着しているので関係が築かれ世間話が多彩に飛びかい会話もあります。会話の中で職員も学ぶことや教えられることが多いようである。レクリエーションにも積極的に進んでいるので、入居者様全員でする事も多い。個々も大切にしながら入居者様・職員が一つになって生活を心がけています。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の様子や変化などを細かく報告し、家族と共にご本人様を支えています。また、家族交流会や行事の参加を促し一緒に楽しめる様努めています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者様が安心して穏やかに生活され、その様子を目にすることにより、ご家族も安心され、優しい眼差しで気持ちよい関わりで接いられている。ご家族と入居者様の間を取り持つポジションに職員は位置し、確実な情報交換に心がけている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご自宅より親しまれている品物を持参して頂いている。ご仏壇やタンス等搬入している。知人の来訪や電話も徐々に多くなっている。入居者様より電話の要望があれば連絡している。散歩やドライブ等も多彩に行っている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎朝の申し送り時に各入居者様の状況報告があり、全職員へ伝わるようにしている。その中で問題点があれば注意深く状況判断し、関係がスムーズに行くよう配慮している。時に困難な事があれば職員カンファ等で話し合い解決に努めている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院や他の施設に入居などで退居された場合は、継続的に伺いその様子を家族へ連絡している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人一人の生活暦を理解し、入居者様との会話の中で思いや行動を見極めて行っている。又、希望や意向など添う努力もしている。職員等で困難な事はご家族との相談し協力を得る様に行っている。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>アセスメント表を活用し、ご家族の方にも協力を頂いている。</p>	<p>センター方式を取り入れることにより、ご家族との協力を頂き、家族の方にも生活暦を思い起こしてもらい良い機会だと思える。職員とご家族との共同作業で良い生活が出来ると思われる。</p>
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎日の日中・夜間の様子を申し送りしている。日々の生活の中で気づいた事を記録に記載し、生活の指針にしている。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者様がどのような生活を希望されているのかをお聞きし担当職員やご家族・スタッフ等との会議を開き意見交換をする。その結果を介護計画に取り入れ実施し、課題の再確認を行い結果は全職員が把握するようにしている。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現状の変化に対応しプランの変更を行っている。期間に応じて、又、期間内であっても状態の変化があるのでその都度、担当職員が担当者会議を開いて新たな介護計画を作成している。</p>	
40	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日中・夜間と介護計画に基づいてケアを行い、それに対しての記録を残している。記録等を再確認することにより介護計画の見直しや情報の共有を行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスと併設しているため、多動・徘徊の方などは協力を得ている。足湯や農作物の栽培も行っている。行事毎の共同開催により大勢の方々との関わりを持って頂いている。もしも希望があればご家族の宿泊も配慮している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの受け入れや、一般の方々の来訪も出来るようにしており、入居者様も楽しみにされている。消防の避難訓練だけでなく救命救急教室を行いAED設置を行った。又、警察からの交通安全教室も実地した。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホーム協議会を通じてのネットワーク作りを行い、必要が生じた場合は相談、話し合いの場を持つ準備が出来ている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議メンバーとして、包括支援センター職員との連携が取れている。必要に応じては権利擁護センターにご相談も心がけている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2度の往診により、入居者様やご家族から安心を頂いている。少しでも異常があればすぐに受診し、相談し易い関係を築いている。協力医院が家族の大きな安心に繋がっている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	現在認知症専門医院に受診はしていませんが、希望がある場合協力医院に相談し受診をするようにしています。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が、看護師であるのでスタッフも気軽に相談し管理者より協力病院にも詳しく病状等を説明頂け、健康管理は出来ていると思う。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した場合は状態をご家族や病院に伺い、病院に様子を頻りに伺い状態の把握をしています。退院前は病院にて連絡を頂き担当者会議を経て退院を迎えています。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期ケアの指針を家族に説明し、理解を頂いている。状態の異変は繰り返し話し合いを行いメンバーで方針を共有している。		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在2名の方が居られますが、入居前にご家族との話し合いにて施設内で出来るところまでのケアを行い、協力医院と管理者が連携をとり、家族と必要に応じ連絡をし支援に取り組んでいます。		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居先に十分な情報提供を行い、質問等にも対応できるよう心がけています。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人一人の意義付けを行い、その方の尊厳を大切にす様配慮している。記録等は一括保管し、持ち出し禁止や知り得た情報は口外を禁じている。プライバシー保護の為契約書を書いて頂いています。		
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	その方の情報、しぐさ、行動等を速やかに察知する様心がけている。又、本人にわかり易いよう丁寧に説明し自分で決めて頂けるよう支援している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の一人一人のペースに合わせて個別ケアに努めている。外出・買い物等は出来るだけ実現出来る様にしている。レクリエーションの参加も本人に希望等を確認し自己決定を尊重しています。無理には行っていません。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族の協力のもと、希望があれば外出にて行きつけのお店に連れて頂いています。理容に関しましては同じですが、ほとんどの方がホームに来られたときにお願ひしますとの希望があります。毎日の更衣に関しましては本人にお任せしています。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理が出来る方にはお手伝いをして頂いています。又その他の方にも食器を運んで頂いたり、洗って頂いたりしています。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコに関しましては、施設内では禁止しています。買い物希望される方には職員と共に買い物に行き好みの物を購入し楽しませて頂いています。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、必要な方には定期的にお声をお掛けし誘導し失敗の無い様に配慮している。日中は下着を着用して頂きオムツの費用も削減するよう努力しています。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	決められた曜日にて入浴は行っていますが、その日の体調や気分により曜日変更や時間を変えていただきゆっくりと入浴して頂いています。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	職員が日中の生活パターンを把握しているため、状況に応じて声かけし、ゆっくりと休息して頂ける。昼夜逆転が無い様日中は離床していただき、夜間ごゆっくりと睡眠される様支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族の協力などで知り得た事によりケアに役立っている。散歩や庭の手入れ等を行うことによって張り合いや気分の転換も行っている。出来るだけ外気に触れて頂き生き生きと生活が送れるよう支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理の出来る方は、家族と話し合い了解の下、ご本人様に管理していただくようにしています。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々体操を行った後、お地蔵さんにお参りし、散歩に出かけています。又、ドライブ等も計画して戸外に出るように心がけています。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	レクリエーション担当職員中心に計画を立てて頂き、外食・ドライブを計画しています。		
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からのお便りなど届いたときは、必ず連絡するように支援しています。希望があれば電話をかけて頂いています。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室にて楽しく会話ができる様考慮しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修会を開き、常に職員の意識の中に拘束をしないケアを周知徹底している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることのないように行っていますが、時に徘徊者の身体を守る為には必要だと思しますので職員がご家族と相談の上実施しています。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各個人のプライバシーを尊重し生活ベースに合わせて所在確認を行っています。夜間帯は二時間おきに巡視し、異常者が有る場合は常に巡視回数を増やし近くで観察しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	その時の状況に応じて状態を把握し、安全に使用する事ができ、保管、管理出来るように工夫している。又、誤飲等の危険性のある様な物品は確認している。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急救命対応の勉強会を行って、ヒヤリハットの作成や避難訓練実施などで、役割の確認を職員一人一人が自覚している。対応マニュアルを作成し全職員が周知徹底している。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に救急隊の勉強会を行い応急手当や初期対応の訓練を心がけるようにしたい。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回実施している、職員にはマニュアルを作成し非難できるようにしている。地域との消防隊との連携もとれている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	リスクについては、職員間やご家族と普段からよく話し合い、家族の気持ちを踏まえてケアを行っている。起こり得ることは、全て説明し、理解頂き、対応に心がけている。		
78				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを実施し、食事量や排泄のチェックなど、体調管理には尽くしています。ご自分で状態を性格に伝えられない方は、特に配慮し異常に気づいた職員は全職員に変化を伝え、情報の共有を図り対応している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の処方何が出ているかは、カルテの後ろに綴じられていて、効能などの理解を深めており理解をしている。誤薬防止の為、入居者様の名前を呼び確認している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便パターンを知り、便秘にならない様に水分補給・食事チェック・運動などに注意している。又、便秘がちな方には、毎朝コップ一杯に水を飲んでいただき腹部マッサージ等を行っていただいています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの声かけし、確認を行っている。義歯の方には洗浄介助、残歯のケア介助、磨き残しのケアなど、その方にあったケアを行っています。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全量摂取して頂ける様メニューに多様化し工夫し摂取量をチェックし表に記入している。口腔状態や嚥下状態の不良な方には食事形態を考慮しています。水分の飲用に關しても飲み易いものを提供し支援しています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し感染症予防の為、手洗い・うがい等を実施しています。インフルエンザ等は職員・入居者様共に予防接種していただいています。他に關しましては発生したときにマニュアルに添って実施していきます。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日日常使用している物には消毒は行っています。冷蔵庫の中や台所は毎週水曜日にアルコール消毒等を使用し行っています。食材は週毎に使い切るようにしています。		
82				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	外の玄関には花壇があり花を植えて入り易い雰囲気を作っています。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るさの調和を考慮し、ホーム内の照明に注意している。季節に応じた雰囲気作りを入居者様と一緒に作り実行しています。行事や日常の写真を多数展示している。環境作りには工夫しています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスでの散歩、中庭でのお地蔵さんお参り、個々にあった居場所作りの工夫をしている。入居者様同士が気軽に会話が出来る様、見守りと声かけを行い状況に応じて職員と一緒に入りコミュニケーションをとっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談し使い慣れた物を持ち込んでいただき居心地良く生活出来る様に配慮しています。又部屋には写真等を壁に貼ったりしていただき心を安らぐようにしています。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的に換気していただき、各居室やホール・風呂場には温度計を設置し温度差の調整を心がけています。又、入居者様の意思に添って衣服など調整して頂いています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子の方や下肢筋力低下の方に転倒が無い様に段差が無い構造であり、配慮されている。手すり等も設置され幅広いスペースである。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様の残存機能・能力を把握し出来ることはご自分でしていただくよう声かけし、不安等が生じた場合ゆっくりと話を聴き説明しながら手順に添って失敗の無いよう支援している。		
89	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	池や川の中にいる魚や鳥を見ながら散歩し、裏の畑では農作業をして花や野菜が育つのを楽しんでいる。またベランダにも花を置き水やりをしている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームみどりは、恵まれた環境の中で位置して居り、季節感あふれる所です。理念にも抱えているように、入居者様には安心・安全・安楽に過ごせるよう職員一同ケアを重視し、館内も広く・ゆっくりした空間の中工夫を考慮しています。また、季節ごとに行事を主催し職員とご家族・入居者様と一緒に楽しく過ごす事も取り入れてます。